英語教育の充実に向けて【授業改善〔中学校〕ver.】

英語教育における授業改善に向けて、留意点及びポイントについてまとめました。授業づくりの参考のために、御活用ください。

空知教育局義務教育指導班

単元構成を考える際の留意点及びポイント

Step1　生徒に身に付けさせたい資質・能力を明確にし、単元の目標を設定する。

例

自分の住む地域について、地域のことをあまり知らない人が知りたいことを踏まえて、おすすめの場所やものについて紹介するために、おすすめの場所やものについて、簡単な語句や文を用いて、書くことができる。

何を　何のために（目的）　何に気を付けて（状況）　どのように

具体化

Point 言語活動との結び付きを意識する。

Step2　評価規準を設定する。

例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔知識〕 There＋be 動詞＋～、疑問詞 How について理解している。 〔技能〕 自分の住む地域のおすすめの場所やものについて、事実や自分の考えなどを、There＋be 動詞＋～など簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。	自分の住む地域について、あまり知らない人に、その人の知りたいことを踏まえて紹介するために、おすすめの場所やものについて、事実や自分の考えなどを、簡単な語句や文を用いて書いている。	自分の住む地域について、あまり知らない人に、その人の知りたいことを踏まえて紹介するために、おすすめの場所やものについて、事実や自分の考えなどを、簡単な語句や文を用いて表そうとしている。

Point

知識・技能を活用し、目的や場面、状況を踏まえた思考・判断・表現の評価規準を設定する。

重要！！

Step3　単元の終末において、目指す資質・能力を身に付けた生徒の姿を具体化する。

例

【中学校第１学年　書くこと イ】

You can enjoy camping in Hokkaido.
There is a lake in Kushiro.
There is a campground near the lake.
Do you like animals?
There are some zoos in Hokkaido.
Asahiyama zoo is nice.
You can enjoy there with your daughter.
Please enjoy taking pictures of animals!

単元の終末で、こんな英文を書くことのできる生徒にするためには、どのように学習を進めていけばよいのだろう。（バックワードデザインによる単元づくり）

Step4　単元を構成する。

例

時数	生徒の学習活動
1	・単元の目標を理解し、学習の見通しをもつ。 ☆自分の住む地域にあるものなどについて、聞き取ったり、伝え合ったりする。
2	・教科書の会話文を読んで、概要や要点をとらえる。 ☆自分の住む地域のおすすめの場所や物についての紹介文を書く。
3	・教科書の会話文を読み、「疑問詞 How」の意味や使い方を理解する。 ・「疑問詞 How」を使ったやり取りを行い、聞き取った内容を整理する。
4	・教科の会話文を読み、「There is〔are〕～構文」の意味や使い方を理解する。 ・「疑問詞 How」や「There is〔are〕～構文」の意味や使い方を整理する。
5	☆ALT に向けて、自分の住んでいる町のおすすめの場所や物について紹介する文を書く。 ①自分の住んでいる町について、ペアで即興の発表を行う。 ②自分が伝えたこと、友だちから聞いたことを使って、自分の住んでいる町のおすすめの場所やものの紹介文を書く。

Step3で具体化した生徒の姿が実現。

Point

重要！！

１単位時間の学習を積み重ね、Step３で具体化した、目指す資質・能力を身に付けた生徒の姿に近付けていく。

☆身に付けさせたい資質・能力を育む学習活動をバランスよく位置付ける、繰り返しの言語活動が設定されている単元計画

英語教育の充実に向けて【授業改善〔小学校〕ver.】

英語教育における授業改善に向けて、留意点及びポイントについてまとめました。授業づくりの参考のために、御活用ください。

空知教育局義務教育指導班

単元構成を考える際の留意点及びポイント

Step1　児童に身に付けさせたい資質・能力を明確にし、単元の目標を設定する。

例

友だちのことを理解したり自分のことを伝えたりするために、相手のことや自分のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合うことができる。

何のために（目的）　何を　どのように

具体化

Point 言語活動との結び付きを意識する。

Step2　評価規準を設定する。

例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔知識〕 身の回りのものを表す語や、I like/want/have～. Do you～? What do you～?の表現について理解している。 〔技能〕 自分や相手のことについて、身の回りのものを表す語や、I like/want/have～. Do you～? What do you～?を用いて、気持ちや考えなどを伝え合う技能を身に付けている。	友だちのことを理解したり、自分のことを伝えたりするために、自分や相手のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合っている。	友だちのことを理解したり、自分のことを伝えたりするために、自分や相手のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。

Point

英語を使用する必然性のある活動を踏まえた思考・判断・表現の評価規準を設定する。

重要！！

Step3　単元の終末において、目指す資質・能力を身に付けた児童の姿を具体化する。

例

S1: What do you want for your birthday?
S2: I want a new T-shirt.
S1: You want a new T-shirt! What color do you like?
S2: I like blue very much.
S1: Do you like white, too?
S2: Yes, I do.
S1: I have blue and white T-shirt.
　This is for you.
S2: Thank you!

【小学校第５学年　話すこと〔やり取り〕】

単元の終末で、こんなやり取りができる児童にするためには、どのように学習を進めていけばよいのだろう。（バックワードデザインによる単元づくり）

Step4　単元を構成する。

例

時数	生徒の学習活動
1	・単元の目標を理解し、学習の見通しをもつ。 ☆Do you～? What do you～?などを使って、やり取りをする。
2	・教科書の会話を聞き、好きなものを聞き取る。 ☆誕生日や好きなものについて、質問に答えたり、尋ねたりする。
3	・教科書の会話を聞き、分かったことをまとめる。 ☆誕生日や好きなものについて、質問に答えたり、尋ねたりする。
4	・友だちにプレゼントしたいものの絵を描いて、プレゼントカードを作成する。 ・やり取りに向け、必要な表現を確認する。
5	☆友だちの好きなものや欲しいものを聞いたり、自分の好きなものをや欲しいものを伝えたりする。

Point

重要！！

１単位時間の学習を積み重ね、Step３で具体化した、目指す資質・能力を身に付けた児童の姿に近付けていく。

☆身に付けさせたい資質・能力を育む学習活動をバランスよく位置付ける、繰り返しの言語活動が設定されている単元計画

Step3で具体化した児童の姿が実現。